

扇小 元気な作品集

令和6年度 (50周年)

よく考えて行動する心

⑤ わたしは、けいけんがあります。そのときには、わたしは、ババアといわれました。それでわたしは、か、とな、て、す、ごくおこってしまいました。そして、おこり人ばといわれました。だから、ず、とむししてしました、でも、ず、ともやもやしました。それで、いじめたこのわるぐちを、心の中でず、といっていました。それで、次、きみはい、つも自分のことは、かり考えてるから、そんなふうにな、ちゃうんだよというのと、そのこが、なまそうにな、て、それで、自分はあやま、たのに、その子はあやま、こくなくて、その子をず、とむししてたら、きゅうにあやま、て、なせあやま、たかきくと、むし

行動の相手にもあおいさんの気持ちで作ったんですね

い、しょに遊ばない

⑤ ほいく園のころあたらしいところに来たばかりで、あたらしいほいく園の子がみんない、しょにあそぼうといわれて、自分はき、うにだ、たかう、いいよといえなくて、何日かすると、みんなほかの子とあそんでいて、ち、とやな気持ちになりました。でも、ち、とずつがれてい、て自分からあそぼうといえましたが、もしかしたらみんな、わたしが何も言わなくて、せ、かくさえてい、るのにといやな気持ちだったのかと思います。これからは、ちゃんと答えて、自分の気持ち、と相手の気持ちも考えようと思いました。

「相手が自分のことをこう思ったのかな？」と考えられるあおいさんですね！

四年生の子の道徳ノートを見せてもらいました。毎時間、真剣に考えて、真剣に自分と向き合っていることが分かります。すばらしい！